

令和 7 年度 「我が国における地球観測の実施計画」

令和 8 年 2 月 6 日
科学技術・学術審議会
研究計画・評価分科会
地球観測推進部会

令和7年度「我が国における地球観測の実施計画」 目次

実施項目	関連府省庁	ページ
Ⅲ. データバリューチェーンの実現に向けた我が国の取組の方向性		
1. データバリューチェーンを通じた地球観測の利活用の促進 (1) データバリューチェーンの意義 (2) データ共有の仕組みとプラットフォームの在り方 (3) オープンデータと情報管理	総務省、文部科学省、経済産業省、 気象庁、環境省	4
2. 最先端の科学技術イノベーションに基づく地球観測の利活用の促進 (1) デジタルツインやAI等のデジタル技術の活用 (2) 科学技術の活用・発展 (3) 気候予測データの創出・高度化に向けた環境整備	総務省、文部科学省、経済産業省、 気象庁、環境省	4
3. 持続可能な地球観測の推進 (1) 地球観測インフラの着実な整備 (2) 地球観測人材の育成 (3) 地理空間情報の整備	総務省、文部科学省、経済産業省、 国土交通省、国土地理院、気象庁、 海上保安庁、環境省	6
4. 国際協力を通じた我が国の地球観測分野のリーダーシップの発揮 (1) 地球規模課題解決への協力 (2) GEOへの協力	文部科学省、経済産業省、国土交通 省、気象庁、環境省	7
5. 我が国の地球観測システムの推進体制・組織等 (1) 地球観測の推進体制 (2) 関係府省・組織の連携 (3) 地域における地球観測データの利活用の促進	文部科学省、気象庁、環境省	8
Ⅳ. 分野別の地球観測		
1. 気候変動		
温室効果ガスや短寿命気候強制因子(SLCF)をはじめとした大気環境物質やそれら排出量等の変化に伴う気候の変化を継続的、包括的に観測し、地球温暖化プロセスの理解向上。	総務省、文部科学省、農林水産省、 林野庁、経済産業省、気象庁、環境 省	8
極域における気候変動に伴う海氷融解等による海面上昇や深海を含む海洋環境の変化、森林火災、これらの現象が大気圏等に与える影響を全球規模で継続的に監視	総務省、文部科学省、経済産業省、 気象庁、海上保安庁、環境省	10
観測成果を、高度な予測モデルと結びつけ、最新の気候予測データの提供等や、観測に基づき計算した温室効果ガス排出量の情報発信による国際貢献	文部科学省	12
企業における地球観測データや気候予測データを活用した気候変動対策を進めるためには、データ提供者側と企業等のエンドユーザー、民間セクターを中心とした主体の役割の拡大	文部科学省	13
2. 防災・減災		
地震・火山活動等やその発生場に対して安定的な観測を長期にわたって維持、継続し、得られたデータを共有するとともに、新しい観測技術の開発や新たな地球観測データを用いた研究を推進	気象庁	13
災害発生時の被害の最小化や効率的な復旧・復興のため、継続的かつ迅速な地球観測により、地震、津波の早期検知や発生後の被災状況の早期把握	文部科学省、国土交通省、気象庁	14
地震や地殻変動、火山活動、津波、気象等を継続的に観測するためのインフラを計画的に整備し、観測精度を高めるための研究開発を継続	総務省、文部科学省、国土交通省	15
災害に関する地球観測データや予測データ等の地球インテリジェンスの創出における連携	総務省、文部科学省	15
地球観測データとの統合により、気候予測に基づくハザード統合モデルの開発を進め、創出された災害の予測データを、国や地方公共団体に速やかに共有することにより、予防的な防災・減災対策に貢献	総務省、文部科学省	16
3. 生物多様性・生態系の保全		
関係府省や専門家、生物多様性・生態系の観測ネットワーク等が協力し、植生等の基盤情報の更新を含む、日本国内の多様な環境における生物多様性・生態系に関する観測網を構築し、モニタリングを迅速かつ着実にを行い、データを取得、集約、蓄積、公開	総務省、文部科学省、農林水産省、 林野庁、水産庁、経済産業省、環境 省	16

4. 海洋環境の保全			
船舶、漂流フロート、係留系、衛星及びその他の海洋観測プラットフォームを活用し、包括的かつ継続的な全球海洋観測を実施するとともに、更に観測技術を効率化・高度化。また、国際プログラムへの参画を継続し、その中での我が国の役割を完遂	文部科学省、気象庁、環境省	18	
水海域や深海をはじめとするデータ空白域において、物理学的、生物地球化学的、生態学的な海洋特性の観測を強化	文部科学省、海上保安庁、環境省	19	
多様な地球観測データと高度なシミュレーション技術を融合して構築する海洋デジタルツインの研究開発等	文部科学省	19	
5. 食料・農林水産物の確保			
衛星等を用いて、農作物の作付け状況や農地やその周辺における土地利用、病虫害や水環境等の状況、無断伐採も含めた森林等の管理状況を把握し、生産者等へのそれらの情報を共有	文部科学省、農林水産省、水産庁	20	
過去の生産量等の推移や気候予測とを組み合わせ、農作物の生産量や農地の利用状況等について、将来の変化の予測につなげ、それに基づく対策を実施することにより、生産量の拡大やより適切な農地の活用	農林水産省	21	
水産資源の量や分布、魚種交代、漁場環境や水質、有害生物等の把握のための地球観測を継続的に進めるとともに、これらの地球観測データと気候予測データとを組み合わせ、近年の水温上昇や異常気象等を踏まえた適切な水産資源管理に向けた取組	文部科学省、水産庁	21	
6. 水循環・水資源管理			
降水量、河川流量、地下水位や揚水量、土壌水分量、水質等を地上観測ネットワーク、衛星観測と数値モデルの統合利用によって、効率的な治水・利水、効果的な水災害の防止の実現	総務省、文部科学省、国土交通省	21	
グローバルな水資源の確保への貢献に向け、アジアモンスーン域を含めた開発途上国とともに、水循環・水資源の観測に関する国際協力を進め、水循環メカニズムの解明に加え、これらの地域における水資源の確保や水災害の防止等への利活用を進めるための能力構築支援	文部科学省	21	
7. エネルギー・鉱物資源の確保			
我が国周辺に天然に賦存する海洋由来のエネルギー（メタンハイドレート等）や鉱物資源（海底熱水鉱床、コバルトリッチクラスト等）等の海底資源の賦存量を明らかにし、海底地形など周辺環境を十分に把握した上で、環境負荷の少ない資源開発の実現	文部科学省	21	
日射量や風況、海況、地熱等の地球観測の成果を、再生可能エネルギーの事前評価に利活用し導入を促進	文部科学省	21	
8. 健康・汚染			
感染症や媒介生物の出現状況、エアロゾルや黄砂を含めたグローバルな大気汚染物質の発生、拡散の状況、ヒートアイランドの実態等の把握に向けた衛星観測や現場観測を実施	総務省、文部科学省、気象庁、環境省	21	
地球観測データや予測データを、国や地方公共団体の公衆衛生担当部局や、公衆衛生等の専門家に速やかに共有し、迅速な感染症等の予防や汚染対策に活用できる体制を整備するとともに、地球観測と公衆衛生等の専門家が協働して、異なる分野での相乗的な効果を促進させるための地球インテリジェンスの創出に向けた取組	総務省、気象庁	22	

【図2】今後10年の我が国の地球観測の実施方針」に基づく、2025年度（令和7年度）の我が国における地球観測の実施計画

第2期実施方針における対応項目				監視番号	西暦	実施方針に資する項目（取組の概要）	測定の手段 (衛星測位、観測衛星、その他)	観測対象	観測手段	観測域・観測地点	観測年度	所管官庁・観測機関	事業名（予算項目）	令和7年度予算額 (百万円)	令和7年度に実施予定の取組	新規／拡充	計画期間 (計画年度、終了年度)	データに関する問合せ先とURL	SDGs	関連施策	関連目標	備考
【 最先端の科学技術イノベーションに基づく地球観測の利活用の促進 】 (1) デジタルツインやAI等のデジタル基盤の活用 (2) 科学技術の活用・活用 (3) 気候予測データの創出・高度化に向けた環境整備	21		地球環境データベースの構築と活用 地球環境データバンクから気候予測情報（観測データ、モデル予測データ、それらの融合を促すメタデータ等）の整備、オープンデータ化の推進（活用）	○	○	データベース構築（活用）	○	地球環境に関する気象・気候化	-	地点から全球まで	-	国策省（国立環境研究所）	地球環境の組織的モニタリング・地球環境データベース構築（国家交付金交付事業）	20	地球環境データベースの構築と活用を引き続き実施する。	H0	-	国策省 https://doi.org/10.24407/gnd/ja/ 国策省 http://doi.org/10.24407/gnd/en/	16.7.11.13.14.15		○	
	22		日本を中心としたモンゴリアンアジアの観測サイトにおける二酸化炭素/メタン/ラクトン炭素濃度観測	○	○	土壌CO2、GHGラクトン	地上	日本、中国、台湾、マレーシア	継続	国策省（国立環境研究所、気象庁環境研究センター、気象庁気象研究所）	1）「国策省」地球環境保全・気象庁環境研究センター、気象庁気象研究所との連携（地球環境保全試験研究費）	21の内数	アジアモンスーン域に設置されたチャンパー観測ネットワークを活用し、土壌CO2/GHGラクトンを観測するとともに生じる温暖化に対する影響を評価する。	H0	-	国策省 国策省 https://doi.org/10.24407/gnd/ja/ 国策省 http://doi.org/10.24407/gnd/en/	13.15		○			
	23		宇宙天気予報精度向上のための観測計画・モデル精度高度化	○	○	太陽風、コロナ質量放出（CME）、太陽磁場、磁気圏、電離圏、地球磁場	地上・宇宙空間	日本、中国、台湾、マレーシア	19年以降に継続	国策省（国立環境研究所、気象庁環境研究センター、気象庁気象研究所）	1）「国策省」地球環境保全・気象庁環境研究センター、気象庁気象研究所との連携（地球環境保全試験研究費）	21の内数	宇宙天気予報向上のため、太陽・太陽風、磁気圏、電離圏における気象観測を行うための観測技術や、予測を行うためのモデル技術の高度化を進める。	H0	-	国策省 https://doi.org/10.24407/gnd/ja/ 国策省 http://doi.org/10.24407/gnd/en/	13.11.13.17		○			
	24	再掲	地球環境データ統合・観測プラットフォーム事業 地球環境データの利用を拡大・促進し、防災・減災対策や気候変動対策に資する地球環境データのデジタルプラットフォーム（DL）を構築するとともに、国、地方自治体、企業等の意思決定に資する。防災・減災対策や気候変動対策を中心とした地球環境全体のデータプラットフォーム（ハブ）としての長期計画・実効性の確保を目指す。	○	○	気候予測に関する気象・気候化	地上・宇宙空間	日本、中国、台湾、マレーシア	19年以降に継続	国策省（国立環境研究所、気象庁環境研究センター、気象庁気象研究所）	1）「国策省」地球環境保全・気象庁環境研究センター、気象庁気象研究所との連携（地球環境保全試験研究費）	21の内数	地球環境データ統合・観測プラットフォーム事業	H0	H1.2	国策省 https://doi.org/10.24407/gnd/ja/ 国策省 http://doi.org/10.24407/gnd/en/	2.3.6.7.11.13.14		○			
	25		気候科学の予測による地球環境の高度化及び高度化による地球環境の高度化 地球システムの変化と人間活動との相互関係性の理解を促進するため、データを連携する手法と、連携された観測データの高度化や予測精度の向上を可能にする技術の開発や普及を促進し、防災・減災対策を促すための研究開発を行う。	○	○	気候予測に関する気象・気候化	地上・宇宙空間	日本、中国、台湾、マレーシア	19年以降に継続	国策省（国立環境研究所、気象庁環境研究センター、気象庁気象研究所）	1）「国策省」地球環境保全・気象庁環境研究センター、気象庁気象研究所との連携（地球環境保全試験研究費）	21の内数	地球環境データ統合・観測プラットフォーム事業	H0	H1.2	国策省 https://doi.org/10.24407/gnd/ja/ 国策省 http://doi.org/10.24407/gnd/en/	2.3.6.7.11.13.14		○			
	26		地球環境データ統合・観測プラットフォーム事業 地球環境データの利用を拡大・促進し、防災・減災対策や気候変動対策に資する地球環境データのデジタルプラットフォーム（DL）を構築するとともに、国、地方自治体、企業等の意思決定に資する。防災・減災対策や気候変動対策を中心とした地球環境全体のデータプラットフォーム（ハブ）としての長期計画・実効性の確保を目指す。	○	○	気候予測に関する気象・気候化	地上・宇宙空間	日本、中国、台湾、マレーシア	19年以降に継続	国策省（国立環境研究所、気象庁環境研究センター、気象庁気象研究所）	1）「国策省」地球環境保全・気象庁環境研究センター、気象庁気象研究所との連携（地球環境保全試験研究費）	21の内数	地球環境データ統合・観測プラットフォーム事業	H0	H1.2	国策省 https://doi.org/10.24407/gnd/ja/ 国策省 http://doi.org/10.24407/gnd/en/	2.3.6.7.11.13.14		○			
	27	再掲	気候科学の予測による地球環境の高度化及び高度化による地球環境の高度化 地球システムの変化と人間活動との相互関係性の理解を促進するため、データを連携する手法と、連携された観測データの高度化や予測精度の向上を可能にする技術の開発や普及を促進し、防災・減災対策を促すための研究開発を行う。	○	○	気候予測に関する気象・気候化	地上・宇宙空間	日本、中国、台湾、マレーシア	19年以降に継続	国策省（国立環境研究所、気象庁環境研究センター、気象庁気象研究所）	1）「国策省」地球環境保全・気象庁環境研究センター、気象庁気象研究所との連携（地球環境保全試験研究費）	21の内数	地球環境データ統合・観測プラットフォーム事業	H0	H1.2	国策省 https://doi.org/10.24407/gnd/ja/ 国策省 http://doi.org/10.24407/gnd/en/	2.3.6.7.11.13.14		○			
	28		気候科学の予測による地球環境の高度化及び高度化による地球環境の高度化 地球システムの変化と人間活動との相互関係性の理解を促進するため、データを連携する手法と、連携された観測データの高度化や予測精度の向上を可能にする技術の開発や普及を促進し、防災・減災対策を促すための研究開発を行う。	○	○	気候予測に関する気象・気候化	地上・宇宙空間	日本、中国、台湾、マレーシア	19年以降に継続	国策省（国立環境研究所、気象庁環境研究センター、気象庁気象研究所）	1）「国策省」地球環境保全・気象庁環境研究センター、気象庁気象研究所との連携（地球環境保全試験研究費）	21の内数	地球環境データ統合・観測プラットフォーム事業	H0	H1.2	国策省 https://doi.org/10.24407/gnd/ja/ 国策省 http://doi.org/10.24407/gnd/en/	2.3.6.7.11.13.14		○			
	29	再掲	気候科学の予測による地球環境の高度化及び高度化による地球環境の高度化 地球システムの変化と人間活動との相互関係性の理解を促進するため、データを連携する手法と、連携された観測データの高度化や予測精度の向上を可能にする技術の開発や普及を促進し、防災・減災対策を促すための研究開発を行う。	○	○	気候予測に関する気象・気候化	地上・宇宙空間	日本、中国、台湾、マレーシア	19年以降に継続	国策省（国立環境研究所、気象庁環境研究センター、気象庁気象研究所）	1）「国策省」地球環境保全・気象庁環境研究センター、気象庁気象研究所との連携（地球環境保全試験研究費）	21の内数	地球環境データ統合・観測プラットフォーム事業	H0	H1.2	国策省 https://doi.org/10.24407/gnd/ja/ 国策省 http://doi.org/10.24407/gnd/en/	2.3.6.7.11.13.14		○			
	30		気候科学の予測による地球環境の高度化及び高度化による地球環境の高度化 地球システムの変化と人間活動との相互関係性の理解を促進するため、データを連携する手法と、連携された観測データの高度化や予測精度の向上を可能にする技術の開発や普及を促進し、防災・減災対策を促すための研究開発を行う。	○	○	気候予測に関する気象・気候化	地上・宇宙空間	日本、中国、台湾、マレーシア	19年以降に継続	国策省（国立環境研究所、気象庁環境研究センター、気象庁気象研究所）	1）「国策省」地球環境保全・気象庁環境研究センター、気象庁気象研究所との連携（地球環境保全試験研究費）	21の内数	地球環境データ統合・観測プラットフォーム事業	H0	H1.2	国策省 https://doi.org/10.24407/gnd/ja/ 国策省 http://doi.org/10.24407/gnd/en/	2.3.6.7.11.13.14		○			
	31		気候科学の予測による地球環境の高度化及び高度化による地球環境の高度化 地球システムの変化と人間活動との相互関係性の理解を促進するため、データを連携する手法と、連携された観測データの高度化や予測精度の向上を可能にする技術の開発や普及を促進し、防災・減災対策を促すための研究開発を行う。	○	○	気候予測に関する気象・気候化	地上・宇宙空間	日本、中国、台湾、マレーシア	19年以降に継続	国策省（国立環境研究所、気象庁環境研究センター、気象庁気象研究所）	1）「国策省」地球環境保全・気象庁環境研究センター、気象庁気象研究所との連携（地球環境保全試験研究費）	21の内数	地球環境データ統合・観測プラットフォーム事業	H0	H1.2	国策省 https://doi.org/10.24407/gnd/ja/ 国策省 http://doi.org/10.24407/gnd/en/	2.3.6.7.11.13.14		○			
	32		気候科学の予測による地球環境の高度化及び高度化による地球環境の高度化 地球システムの変化と人間活動との相互関係性の理解を促進するため、データを連携する手法と、連携された観測データの高度化や予測精度の向上を可能にする技術の開発や普及を促進し、防災・減災対策を促すための研究開発を行う。	○	○	気候予測に関する気象・気候化	地上・宇宙空間	日本、中国、台湾、マレーシア	19年以降に継続	国策省（国立環境研究所、気象庁環境研究センター、気象庁気象研究所）	1）「国策省」地球環境保全・気象庁環境研究センター、気象庁気象研究所との連携（地球環境保全試験研究費）	21の内数	地球環境データ統合・観測プラットフォーム事業	H0	H1.2	国策省 https://doi.org/10.24407/gnd/ja/ 国策省 http://doi.org/10.24407/gnd/en/	2.3.6.7.11.13.14		○			
	33		気候科学の予測による地球環境の高度化及び高度化による地球環境の高度化 地球システムの変化と人間活動との相互関係性の理解を促進するため、データを連携する手法と、連携された観測データの高度化や予測精度の向上を可能にする技術の開発や普及を促進し、防災・減災対策を促すための研究開発を行う。	○	○	気候予測に関する気象・気候化	地上・宇宙空間	日本、中国、台湾、マレーシア	19年以降に継続	国策省（国立環境研究所、気象庁環境研究センター、気象庁気象研究所）	1）「国策省」地球環境保全・気象庁環境研究センター、気象庁気象研究所との連携（地球環境保全試験研究費）	21の内数	地球環境データ統合・観測プラットフォーム事業	H0	H1.2	国策省 https://doi.org/10.24407/gnd/ja/ 国策省 http://doi.org/10.24407/gnd/en/	2.3.6.7.11.13.14		○			
	34		気候科学の予測による地球環境の高度化及び高度化による地球環境の高度化 地球システムの変化と人間活動との相互関係性の理解を促進するため、データを連携する手法と、連携された観測データの高度化や予測精度の向上を可能にする技術の開発や普及を促進し、防災・減災対策を促すための研究開発を行う。	○	○	気候予測に関する気象・気候化	地上・宇宙空間	日本、中国、台湾、マレーシア	19年以降に継続	国策省（国立環境研究所、気象庁環境研究センター、気象庁気象研究所）	1）「国策省」地球環境保全・気象庁環境研究センター、気象庁気象研究所との連携（地球環境保全試験研究費）	21の内数	地球環境データ統合・観測プラットフォーム事業	H0	H1.2	国策省 https://doi.org/10.24407/gnd/ja/ 国策省 http://doi.org/10.24407/gnd/en/	2.3.6.7.11.13.14		○			
	35	再掲	気候科学の予測による地球環境の高度化及び高度化による地球環境の高度化 地球システムの変化と人間活動との相互関係性の理解を促進するため、データを連携する手法と、連携された観測データの高度化や予測精度の向上を可能にする技術の開発や普及を促進し、防災・減災対策を促すための研究開発を行う。	○	○	気候予測に関する気象・気候化	地上・宇宙空間	日本、中国、台湾、マレーシア	19年以降に継続	国策省（国立環境研究所、気象庁環境研究センター、気象庁気象研究所）	1）「国策省」地球環境保全・気象庁環境研究センター、気象庁気象研究所との連携（地球環境保全試験研究費）	21の内数	地球環境データ統合・観測プラットフォーム事業	H0	H1.2	国策省 https://doi.org/10.24407/gnd/ja/ 国策省 http://doi.org/10.24407/gnd/en/	2.3.6.7.11.13.14		○			
	36		アジア地域に二酸化炭素モニタリングシステムを構築 アジア地域中において、森林生態系の二酸化炭素吸収・放出をリアルタイムで監視するシステムを構築し、気候変動対策に資する。システム構築と併せて、気候変動対策に資する。システム構築と併せて、気候変動対策に資する。	○	○	二酸化炭素モニタリングシステム構築	地上	日本、中国、台湾、マレーシア	19年以降に継続	国策省（国立環境研究所、気象庁環境研究センター、気象庁気象研究所）	1）「国策省」地球環境保全・気象庁環境研究センター、気象庁気象研究所との連携（地球環境保全試験研究費）	21の内数	アジア地域に二酸化炭素モニタリングシステムを構築	H0	H1.2	国策省 https://doi.org/10.24407/gnd/ja/ 国策省 http://doi.org/10.24407/gnd/en/	2.3.6.7.11.13.14		○			
	37		気候科学の予測による地球環境の高度化及び高度化による地球環境の高度化 地球システムの変化と人間活動との相互関係性の理解を促進するため、データを連携する手法と、連携された観測データの高度化や予測精度の向上を可能にする技術の開発や普及を促進し、防災・減災対策を促すための研究開発を行う。	○	○	気候予測に関する気象・気候化	地上・宇宙空間	日本、中国、台湾、マレーシア	19年以降に継続	国策省（国立環境研究所、気象庁環境研究センター、気象庁気象研究所）	1）「国策省」地球環境保全・気象庁環境研究センター、気象庁気象研究所との連携（地球環境保全試験研究費）	21の内数	地球環境データ統合・観測プラットフォーム事業	H0	H1.2	国策省 https://doi.org/10.24407/gnd/ja/ 国策省 http://doi.org/10.24407/gnd/en/	2.3.6.7.11.13.14		○			
	38		気候科学の予測による地球環境の高度化及び高度化による地球環境の高度化 地球システムの変化と人間活動との相互関係性の理解を促進するため、データを連携する手法と、連携された観測データの高度化や予測精度の向上を可能にする技術の開発や普及を促進し、防災・減災対策を促すための研究開発を行う。	○	○	気候予測に関する気象・気候化	地上・宇宙空間	日本、中国、台湾、マレーシア	19年以降に継続	国策省（国立環境研究所、気象庁環境研究センター、気象庁気象研究所）	1）「国策省」地球環境保全・気象庁環境研究センター、気象庁気象研究所との連携（地球環境保全試験研究費）	21の内数	地球環境データ統合・観測プラットフォーム事業	H0	H1.2	国策省 https://doi.org/10.24407/gnd/ja/ 国策省 http://doi.org/10.24407/gnd/en/	2.3.6.7.11.13.14		○			

第2期「今後10年の我が国の地球観測の実施方針」に基づく、2025年度（令和7年度）の我が国における地球観測の実施計画

[illegible]

第2期「今後10年の我が国の地球観測の実施方針」に基づく、2025年度（令和7年度）の我が国における地球観測の実施計画

[illegible]

第2期「今後10年の我が国の地球観測の実施方針」に基づく、2025年度（令和7年度）の我が国における地球観測の実施計画

[illegible]

第2期「今後10年の我が国の地球観測の実施方針」に基づく、2025年度(令和7年度)の我が国における地球観測の実施計画

[illegible]

第2期「今後10年の我が国の地球観測の実施方針」に基づく、2025年度(令和7年度)の我が国における地球観測の実施計画

[illegible]

第2期「今後10年の我が国の地球観測の実施方針」に基づく、2025年度（令和7年度）の我が国における地球観測の実施計画

[illegible]

第2期「今後10年の我が国の地球観測の実施方針」に基づく、2025年度(令和7年度)の我が国における地球観測の実施計画

[illegible]

第2期「今後10年の我が国の地球観測の実施方針」に基づく、2025年度(令和7年度)の我が国における地球観測の実施計画

[illegible]

第2期「今後10年の我が国の地球観測の実施方針」に基づく、2025年度（令和7年度）の我が国における地球観測の実施計画

[illegible]

第2期「今後10年の我が国の地球観測の実施方針」に基づく、2025年度(令和7年度)の我が国における地球観測の実施計画

[illegible]

第2期「今後10年の我が国の地球観測の実施方針」に基づく、2025年度(令和7年度)の我が国における地球観測の実施計画

[illegible]

第2期「今後10年の我が国の地球観測の実施方針」に基づく、2025年度（令和7年度）の我が国における地球観測の実施計画

[illegible]

第2期「今後10年の我が国の地球観測の実施方針」に基づく、2025年度(令和7年度)の我が国における地球観測の実施計画

[illegible]

第2期「今後10年の我が国の地球観測の実施方針」に基づく、2025年度（令和7年度）の我が国における地球観測の実施計画

第2期実施方針における対応項目	整理番号	西暦	実施方針に資する項目（取組の概要）	観測の種類			観測対象	観測手段	観測域・観測地点	観測頻度	所管庁名・組織名	事業名（予算費目）	令和7年度予算額（百万円）	令和7年度に実施予定の取組	新規／拡充	計画期間		データに関する問合せ先とURL	SDGs		備考欄
				観測	観測開始	その他										開始年度	終了年度		関連国連目標	関連目標	
	373	再掲	大気中のSLCPs/短寿命気候汚染物質など大気汚染物質の観測を行う国際宇宙ステーション/機載vSCOPE	○	○	○	大気汚染物質	衛星	全球	全球 11日に1回	総務省（（研）情報通信研究機構）		宇宙開発費交付金の内訳	基礎的な研究開発		H24	-	https://apofo.nict.go.jp/	○	11.13	共同研究、文部科学省（（研）海洋研究開発機構）
	374	再掲	大気中のSLCPs/短寿命気候汚染物質など大気汚染物質の観測を行う静止衛星搭載（OMAP-Asiaや観測静止衛星GOMなど）	○	○	○	大気汚染物質	衛星	アジア域	1時間1回	総務省（（研）情報通信研究機構）		宇宙開発費交付金の内訳	基礎的な研究開発		H24	-	https://apofo.nict.go.jp/	○	11.13	共同研究、文部科学省（（研）海洋研究開発機構）
	375		大気環境観測データ同化と化学輸送モデルによる解析・予測地とや航空機、衛星等による各種観測データを同化し、化学輸送モデルによる解析・予測結果について、国内外に情報提供を行う。			○	○			-	気象庁	気候変動対策業務	気候変動対策業務の内訳	引き継ぎ化学輸送モデルによる解析・予測結果について、国内外に情報提供を実施する。		-	-		*		

NO